

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	長居公園ほか2施設
施設所管課・担当	建設局公園緑化部調整課公園活性化担当
条例上の設置目的	市民の健康の増進と文化的な都市生活の確保を目的とする。
業務の概要	長居公園・長居運動場・長居植物園の管理運営・維持管理に関する業務（利用案内・受付、要望・苦情対応、園内施設管理、関係機関との各種連絡調整など）
成果指標	長居植物園の来園者数、長居運動場の利用件数、長居公園、長居植物園及び長居運動場の利用者満足度
数値目標	長居植物園の来園者数 675,000人以上 長居運動場の利用件数 900件以上 長居公園の利用者満足度 85%以上 長居植物園の利用者満足度 85%以上 長居運動場の利用者満足度 85%以上
指定管理者名	長居わくわくプロジェクトチーム 【構成員】 わくわくパーククリエイト(株) セイレイ興産(株) （一財）大阪スポーツみどり財団 ヤンマーホールディングス(株) タイムズ24(株) （公財）大阪ユースホステル協会
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和23年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	来園者数 （長居植物園）	利用件数 （長居運動場）	利用者満足度 （長居公園）	利用者満足度 （長居植物園）	利用者満足度 （長居運動場）
数値目標	675,000人以上	900件以上	85%以上	85%以上	85%以上
年度実績	838,888人	1,114件	96.1%	96.8%	82.0%
達成率	124.3%	123.8%	113.1%	113.9%	96.5%

利用状況

長居植物園	当年度	前年度	前年度比(差)
利用人数	838,888人	781,690人	107.3%(57,198人)
稼働率	－	－	－
長居運動場	当年度	前年度	前年度比(差)
利用件数	1,114件	1,095件	101.7%(19件)
稼働率	－	－	－

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	417,740,371	418,546,518	3,522,321	長居植物園キャッシュレス手数料、長居運動場光回線使用料の補填のため増額となった。
	計画	414,218,050	423,176,780		
利用料金収入	実績	49,912,736	46,957,773	-6,776,264	計画値は新型コロナウイルス感染症の影響で方向性が不透明だった際に算出したため、実態と差が生じている。
	計画	56,689,000	52,624,000		
その他収入 （自主事業収入等）	実績	248,551,257	187,804,871	38,471,602	昨年度より植物園やチームラボによる常設展示等の収入が増加したため。
	計画	210,079,655	169,063,592		
合計	実績	716,204,364	653,309,162	35,217,659	
	計画	680,986,705	644,864,372		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	97,869,242	122,198,381	9,096,242	計画値は新型コロナウイルス感染症の影響で方向性が不透明だった際に算出したため、実態と差が生じている。
	計画	88,773,000	88,773,000		
物件費	実績	444,665,808	475,222,876	-55,795,151	計画値は新型コロナウイルス感染症の影響で方向性が不透明だった際に算出したため、実態と差が生じている。
	計画	500,460,959	471,594,597		
その他事業費 （自主事業支出等）	実績	196,255,057	112,158,140	47,955,028	原材料価格の高騰により、昨年度よりイベント経費等が増加したため。
	計画	148,300,029	123,778,981		
合計	実績	738,790,107	709,579,397	1,256,119	
	計画	737,533,988	684,146,578		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
来園者数（長居植物園）	124.3%	S	長居植物園開園以降最多となる来園者数の記録を昨年に引き続き更新した。
利用件数（長居運動場）	123.8%	S	新型コロナウイルスが回復したことにより利用件数が増加した。
利用者満足度（長居公園）	113.1%	A	公園の美装化やイベント等に努めた結果、満足度が高かった。
利用者満足度（長居植物園）	113.9%	A	テレビとのタイアップによるイベント等により満足度が高かった。
利用者満足度（長居運動場）	96.5%	B	

令和5年度 指定管理者年度評価シート

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、場内照明のLED化に取り組むなどの節電対策、トイレ、公園水道栓に関する節約の徹底など経費の節減に努めていた。 ・昨年度に引き続き、落ち葉の堆肥化や剪定枝のチップ化によるマルチング利用等の工夫を行い、管理経費削減に努める他、今年度はポスターチラシ等デザインの直営化、デジタル化を進めることによる書類の印刷枚数削減等を行った。 	B	利益配分金なし

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	<ul style="list-style-type: none"> ・注意件数が多かった園内スケートボードについて、令和4年4月にスケートボードパークを新設してから、公園内でのスケートボード走行による注意件数が令和3年度は月140件程度だったが、令和4年度は月20件程度まで激減し、さらに令和5年度は月10件未満に減少した。 ・長居植物園の大池にて令和4年度から引き続き水質浄化を実施した。また、トイレ清掃専従チームを設けて1日2回の清掃を実施するなど、公園全体の美化を推進した。 ・また、植物園正面ゲートに向かう園地内通路両脇の草地の一部に、新たに花壇や植栽を施すことで、植物園への動機付けになるよう、四季の彩りのあるアプローチへの改修を実施した。
事業計画の実施状況	A	<ul style="list-style-type: none"> ・長居植物園では、来園者数が令和4年度の78万人を超え、約84万人となり、過去最多となった。 ・連続テレビ小説「らんまん」(NHK)とのタイアップによるブース展やワークショップ、牧野博士ゆかりの植物スタンプラリーやガイドツアー、高知県マルシェの開催等により、植物園のPRを積極的に実施した。 ・植物園北東に電子チケットで入場できる無人ゲートを設置し、植物園へのアクセスの利便性向上と利用促進を図った。 ・長居パークプラットフォームの分科会である自然みどり部会の植物園プロジェクトとして、ハナショウブ園とジャーマンアイリス園の改植等の実施や、バラ園でボランティアを新たに立ち上げ、より良い管理と技術者の育成に努めた。 ・公園PRのための情報発信の強化を昨年度から引き続き行い、Instagramフォロワー数やHPアクセス数が令和4年度から倍増した。 ・リニューアル1周年を迎え、1周年イベントを自由広場で開催し、地元の方と協働した飲食ブース・イベントブースの出店、打ち上げ花火をあげるなど、賑わいを創出することができた。
施設の有効利用	B	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、より良い長居公園を構築することを目的とした「長居プラットフォーム運営委員会」を年4回開催し、地元企業・教育機関・地元大手企業等を交えて意見交換を継続して行っていた。また、この会を活用し地域の方と共に、初めてスタジアムで盆踊りイベントを作り上げ、多くの方に参加いただいた。 ・長居植物園では、ボランティアと協力して園芸・運営サポート等を実施し、延べ3,527人に参加いただいた。 ・地域連合町会との月1回の公園周辺の清掃や、年4回花の植付け等の花壇管理を福祉協議会や福祉事業所と連携して実施した。 ・昨年度新たに導入したカフェやレストラン等では、セレッソ大阪がスタジアムでホームゲームを行う際に応援デーを開催するなど、公園全体の一体感と賑わいを創出することができた。

令和5年度 指定管理者年度評価シート

社会的責任・市の施策との整合性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、再生可能エネルギー100％電力の利用による排出ガスの削減や、3Rの推進、ヒートアイランド対策などの普及啓発等により、環境への配慮にも努めていた。 ・令和4年7月より植物園のバックヤードにバイオコンポスターを導入し、レストランやカフェで出た食品残渣や競技場で刈った芝生、園内の落ち葉を微生物の力により安全な堆肥に変換し、植物園内の花壇等での活用やイベントでの配布を行っていた。 ・令和6年3月より、Osaka Metroと共同による取組みとして、長居駅地下から湧き出ている湧水を浄化プラントで浄化し、その水を公園内で有効活用していた。植物園内池の水質向上のために湧水を入水したり、公園内トイレの排水に活用したり、中央広場の芝生等の灌水に利用していた。
-----------------	---	--

4-2 魅力向上事業の達成状況

令和4年7月から開始した新施設は今年度も引き続き多くの利用者が見られた。Osaka Metro長居駅側のエントランスでは「桜珈琲」ほか3施設の飲食店、アクティビティとしては有料の大型アスレチック施設「ボウケンノモリNAGAI」、フットサル場「CEREZO FUTSAL PARK NAGAI」、長居植物園の夜間常設展示の「チームラボボタニカルガーデン大阪」と多くの新施設で賑わいの創出・利用促進を実施した。

魅力向上事業として新たに整備したスケートボード広場が令和4年4月にオープンし、今年度も引き続き多くの利用があった。利用登録者数は令和5年3月末時点では約5,800人だったが、令和6年3月末時点では約7,700人と増加しており、同広場ではスケーターグループと指定管理者の協働による運営を行い、マナー向上にも努めている。

子ども連れの家族を対象とした農業体験教室「長居わくわくファーム」も引き続き開催し、昨年度より参加者が倍増の36家族114名となった。農業体験を通して参加者に野菜・植物についての知識が身に着くような取り組みや、収穫した野菜で調理体験を行う食育も実施した。

5 利用者ニーズ・満足度等

一般園地では、10月15日（日）から令和6年1月31日（水）にかけてアンケート調査を実施し、234枚の回答を得た。アンケート結果では満足が60.9%、やや満足が35.2%と合わせると96.1%で目標値85%を達成できていた。また、項目ごとの満足度は「樹木等の管理状況」は96.6%、「園路・広場の管理状況」は93.6%、「遊具」は93.9%、「トイレ」は77.9%、「案内看板等」は87.5%であった。改善点としては「おもむ替え・授乳スペース」の要望が多かった。

長居植物園では、7月22日（土）から8月27日（日）にかけてアンケート調査を実施し、407枚の回答を得た。アンケート結果では大変満足が47.4%、満足が40.3%、やや満足が9.1%と合わせると96.8%で目標値85%を達成できていた。夏場に実施したこともあり、日陰・暑さ対策、開園時間に関する意見が多かった。また、イス・ベンチの改善に関する意見も多かった。

長居運動場では、10月1日（日）から10月30日（月）にかけてアンケート調査を実施し、50枚の回答を得た。アンケート結果では、非常に満足が6%で満足と合わせると82%で目標値85%を下回る結果となった。良い点としては「グラウンドがきれい」、「ナイターで練習ができる」という意見が多かった。改善点としては、「水はけを良くしてほしい」、「整地用具を増やしてほしい」という意見があった。

6 外部専門家意見

- ・スケートボードパークでは、利用者のコミュニティを作る取り組みがなされており、ロールモデルになり得る側面があり、非常に評価できる。
- ・また、プラットフォームの運営等を通して、ボランティアや周辺施設等の地域との繋がりを重視している点についても、非常に評価できる。
- ・大池の水質浄化や地下鉄の湧水の再利用等、環境面の取組みも丁寧に行われており、今後も引き続き行ってもらいたい。
- ・店舗や公園自体の利用者も増加傾向にあり申し分ないが、利用者が増えることによって生じる課題にも目を向け、対応について検討していただきたい。
- ・成果指標の目標値の設定について、より実態に則した数値に設定するのが望ましい。

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・長居植物園において連続テレビ小説とのタイアップによるイベント等を行い、利用促進を図った結果、開園以降最多となる来園者数を昨年度に引き続き更新できたことは非常に評価できる。 ・長居運動場については利用件数の増加は評価できるが、利用者満足度向上に向けて必要な改善が図られることを期待する。
市費の縮減	B	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市への利益配分までは至らなかったが、環境保全にもなる経費削減の取り組みを行っていたことから評価できる。
管理運営の履行状況	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営水準及び仕様書に沿った維持管理を行い、概ね水準に達する管理状況である。 ・魅力向上事業として整備し、昨年度から運用を開始した施設を有効活用し、特にスケートボードパークにおいてコミュニティを形成していたことは、非常に評価できる。 ・長居植物園の北東ゲート設置、テレビとのタイアップによる展示やイベントの実施、SNSによる情報発信の強化等、公園の利用促進に努め、地域との連携にも意欲的に取り組んでいたことから、非常に評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画及び本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた。

【収支状況根拠】

収入		一般園地	植物園	運動場	合計
①業務代行料		※ 189,027,000	256,980,000	766,000	446,773,000
②公園使用料		32,555,870			32,555,870
③清算金（修繕補填）		3,325,714	102,487	95,040	3,523,241
精算後業務代行料（①－②+③）		159,796,844	257,082,487	861,040	417,740,371
利用料金収入		495,000	45,331,736	4,086,000	49,912,736
その他収入	自主事業 （事業収入＋その他収入）	73,444,477	42,739,040	132,000	116,315,517
	魅力向上事業	97,519,740	34,716,000		132,235,740
	合計	170,964,217	77,455,040	132,000	248,551,257

※地下駐車場の収益を控除後の金額

支出		一般園地	植物園	運動場	合計
人件費		46,422,961	50,648,605	797,676	97,869,242
物件費	事務費	13,657,506	36,559,867	224,626	50,441,999
	管理費	185,770,957	121,293,582	1,054,276	308,118,815
	光熱水費	49,578,837	17,836,117		67,414,954
	その他経費	3,029,635	15,395,614	264,791	18,690,040
	合計	252,036,935	191,085,180	1,543,693	444,665,808
その他事業費	自主	4,741,352	7,238,346		11,979,698
	魅力	152,860,355	31,415,004		184,275,359
	合計	157,601,707	38,653,350		196,255,057